

## 【不適切保育を防ぐために：信頼と人間力の重要性】

さて昨今、話題になっている『不適切保育』について、少し述べさせていただきます。  
保護者の皆さんも、とても気になるところかと思えます。「虐待」とか「置き去り」と聞くと、「ウチの園、大丈夫かな…？」と思うのは当然です。実は私達職員も、そういう報道が流れるたびに心が痛みます。

率直に言って「何でそんなことになったんだろう？」「子どもの人数を数えるタイミングや、戸外での職員のポジション（子どもを見守るにあたって最適な場所を常に考え、動きながら見る）は、どうなっているんだろう？」「“不適切”と言われるような関わりをしてしまう前に、職員同士でどうにかならなかったんだろうか？」など、疑問を抱きます。

いずれにしても、大事なのは信頼感ある人間関係（報連相などの良いコミュニケーション）と人間力（相手を敬い感謝する）だと思います。

職員一人ひとりが心身ともに自立（自律）していて、【子どもファースト】で物事を考え、いい意味で発信し合える環境。また、それぞれの得意を活かして、上手く出来ない場合はお互いに頼ったり補い合ったりして、感謝しながら明るく前向きな関係が出来ていれば、もう少し何とかなのでは？と思わざるを得ません。

清香会では職員研修もさまざまな内容でおこなっています。例えば…

- ★清香会が作成した、子どもに対して掛ける言葉集＝「NGとOK」を読み合わせ学ぶ
- ★『人権擁護のためのセルフチェックリスト』（全国保育士会:作成）を基に話し合い、実践する
- ★保育内容（モンテッソーリ教育・あるて（制作関係）・障がい児保育・発達関連その他）・保護者支援・保健衛生など…

加えて外部講師から教わったことを基に『人間力アップ研修』と銘打って、清香会独自で精神的にも成長するために学ぶ機会があります。（瞑想＝ブレインストレッチ・アンガーマネジメント・コーチング・サーバントリーダーシップ・フレームワーク・園でその年度に立てたテーマに沿った研修…等）

このように、『不適切な保育』と言われるような乱暴な対応などしないためにも、子どもの発達や特性を学び続け、保育について職員同士での振り返りを行う（クラス会議でも行っている）ことが大切だと全職員が思っています。そもそもモンテッソーリ教育は【子どもを尊重し、自立するために大人がどう援助するか】が重要なポイントになります。

究極は【平和な世界をつくる】ことを目指しているのです。

つまり『不適切』とは真逆、180℃違います。

これからも【子ども達のために出来ること！】を私達大人

（保育士・保護者）も一緒に考えながら、大人も子どもも風通しの良い関係を築いていければと思います。



（橋本）

